

進捗管理表(ハード対策)

流域名：長良川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所の対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今後10年間の整備内容					H30年度まで						R元年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	H30年度までの 実施内容
長良川	美濃市	1/10	2,900	築堤護岸 護岸工 道路橋改築	1.3	—	築堤護岸 護岸工	78%	0.64	49%	—	—	用地買収	0	自然環境の改変抑制、在来植生の保全	・生息場所保全に配慮した掘削
長良川	関市	1/20	4,800	河道掘削工 護岸工 築堤工	2.8	0.86	測量設計 用地買収 河道掘削工	50%	1.13	40%	0.29	34%	護岸工	0.07	水生生物の生息環境に配慮	・護岸の水際に奇石を実施し、多孔質な空間を形成
長良川	郡上市 (木尾)	1/10	2,900	護岸工 築堤工	0.6	0.7	用地買収 築堤工 樋管工	98%	0.29	48%	0.29	41%	用地買収	0	周辺景観との調和	・明度を落とした護岸材の使用
長良川	郡上市 (高原)	1/10	2,900	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.5	0.5	用地買収	100%	0	0%	0	0%	護岸工	0.22	周辺景観との調和	・現地石材を使用し周辺景観に配慮 ・奇石、巨石の保全
長良川	郡上市 (深戸)	1/10	2,900	河道掘削工 護岸工 築堤工	1.26	1.26	特殊堤工	100%	0.9	71%	0.9	71%	特殊堤工 擁壁工	0.01	桜並木の保全と調和	・桜並木保全のため、専門家の助言を受け施行 ・景観に配慮した特殊堤の設置
長良川	郡上市 (中山・穀見)	1/10	2900~ 2300	河道掘削工 護岸工 築堤工	3.8	3.8	用地測量	0%	0	0%	0	0%	補償調査	0	—	—
長良川	郡上市 (白鳥)	1/10	600	築堤工	1.7	1.7	用地買収 築堤工	100% 第1工区分 100% 第2工区分	1.35	79%	1.35	79%	築堤工	0.1	—	—
津保川	関市 (下流)	1/20	980~1,000	河道掘削工 護岸工 築堤工	1.6	1.0	河道掘削工 護岸工 築堤工 測量設計 用地買収	85%	0.45	28%	0.36	36%	護岸工 河道掘削工	1.0	水生生物の生息環境に配慮、周辺景観との調和	・明度を落としたブロックの採用
津保川	関市 (中上流)	H11.9床上 浸水被害解 消	240~480	河道掘削工 護岸工	4.8	1.23	測量設計 用地買収	12%	0.05	1%	0.05	4%	用地買収 河道掘削工 護岸工	0.17	水生生物の生息環境に配慮、周辺景観との調和	・明度を落としたブロックの採用
吉田川	関市	1/10	65~85	河道拡幅 河床掘削 護岸工	0.4	—	河床掘削 護岸工	0%	0.06	15%	—	—	無し	0	水生生物の生息環境に配慮	・スライドダウン掘削 ・在来土の存置
小野川	関市	1/5	64	河道拡幅 河床掘削 護岸工	0.3	—	護岸工 築堤工	100%	0.3	100%	—	—	無し	0	水生生物の生息環境に配慮	・スライドダウン掘削 ・在来土の存置
関川	関市	1/20	55	河道拡幅 河床掘削 護岸工	0.63	—	河道掘削工	0%	0.15	24%	—	—	無し	0	既設護岸を極力活用、景観維持	・スライドダウン掘削 ・在来土の存置
小那比川	関市	1/10	290	河道拡幅 河床掘削 護岸工	0.6	—	護岸工	10%	0.03	5%	—	—	用地買収 測量設計 河道掘削	0.04	水生生物の生息環境に配慮	—
板取川	関市	1/30	1,900	築堤工	0.1	—	築堤工	0%	0	0%	—	—	無し	0	水生生物の生息環境に配慮	・現況河道の保全 ・在来土の存置
余取川	美濃市	1/5	45~65	河床掘削 護岸工	0.8	1.6	測量設計 (護岸、橋 梁、樋管詳 細)	0%	0	0%	0	0%	用地買収	0	水際植生の保全、自然環境の改変の抑制	—

河川名	市町村名	今後10年間の整備内容					H30年度まで						R元年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	H30年度までの 実施内容
武儀川	関市	1/30	1,150	築堤工 (左岸)	0.7	0.7	築堤工	0%	0	0%	0	0%	用地買収	0	水生生物の生息環境に配慮	—
福富川	岐阜市	1/20	65	河道掘削工 護岸工 橋梁架替工 樋管工	0.8	—	測量設計 用地買収 護岸工 橋梁工	71.4%	0.38	48%	—	—	用地買収 河道掘削工 橋梁架替工	0.05	施工後の速やかな自然環境の回復	・在来土を使用した植生護岸の実施
亀尾島川 (内ヶ谷ダム)	郡上市	1/100	880	治水ダム	—	—	ダム本体内 工事用道路	100%	—	70.1% (事業費へ入)	—	70.1% (事業費へ入)	ダム本体内 工事用道路	—	—	—
犀川	瑞穂市	1/5	150	河道掘削工 護岸工 用水堰改築	1.25	0.2	掘削護岸工	100%	0.32	26%	0	0%	掘削護岸工	0.1	在来植生の復元	・ブロックマット護岸に覆土
天王川	北方町	1/5	13	河道掘削工 護岸工	0.15	—	河道掘削工 護岸工 築堤腹付工	100%	0.15	100%	—	—	築堤天端舗 装工	—	—	—
長護寺川	瑞穂市	1/5	53	河道掘削工 護岸工 橋梁工 伏越工	0.8	—	掘削護岸工 護岸工 橋梁工 伏越改築工	98%	0.28	35%	—	—	掘削護岸工	0.1	在来植生の復元	・低水路は改変せず、高水敷より上部を掘削 (土羽護岸) ・希少種保全のため、専門家の助言を受けて 施行
政田川	本巣市	1/2	36	河道掘削工 護岸工	0.4	0.2	河道掘削工 用地補償	98%	0	0%	0	0%	掘削護岸工	0.08	在来植生の復元	—
境川	羽島市～各 務原市	1/5	35～180	河道掘削工 護岸工 道路橋改築 鉄道橋補強	2.6	2.5	測量設計 用地買収 護岸工 道路橋改築	55%	1.4	54%	1.4	56%	測量設計、 用地買収、 護岸工	0.2	植生に配慮した護岸ブロックの施工	・植生に配慮した護岸ブロックの施行
新荒田川	岐阜市	1/5	15～30	河道掘削工 護岸工 樋門工	0.3	—	河道掘削工 護岸工 樋門工	0%	0.04	13%	—	—	—	—	植生に配慮した護岸ブロックの施工	・植生に配慮した護岸ブロックの施行
荒田川	岐阜市	1/5	20～95	築堤盛土工 護岸工	0.7	0.6	護岸工 用地買収	71%	0	0%	0	0%	護岸工	0.05	在来土を使用した植生護岸の実施	・在来土を使用した植生護岸の実施
桑原川	羽島市	1/5	35	護岸工 樋管工	0.25	—	用地買収	0%	0.14	56%	—	—	—	—	水際植生の配慮	・在来土による覆土
伊自良川	岐阜市～山 県市	1/5	300	築堤工 掘削護岸工 堰改築等	2.1	1.0	河道掘削工 護岸工 築堤工 取水堰工	60%	0.2	10%	0.1	10%	河道掘削工 護岸工	0.05	みお筋幅や蛇行の復元、現在の水際・流況の 保全	・表土の存置
根尾川	岐阜市	1/5	55	掘削護岸工 等	0.66	—	掘削護岸工	100	0.66	100%	—	—	—	—	—	—
正木川	岐阜市	1/30	30	河道掘削工 護岸工 道路橋改築	0.086	—	河道掘削工 護岸工 道路橋改築 用地買収	100%	0.012	14%	—	—	道路橋改築	0.017	—	—
鳥羽川	岐阜市～山 県市	1/5	240～220	掘削護岸 工、築堤 工、樋門等	1.2	—	河道掘削工 護岸工 築堤工 橋梁上部工	60%	0.7	58%	—	—	護岸工 築堤工 排水機場改 築	0.1	緩勾配護岸による親水性保全 みお筋幅、蛇行の復元	・在来土による蛇行の復元 ・明度を落としたブロックの採用
天神川	岐阜市	1/2	10	掘削護岸工 等	0.3	—	掘削護岸工	0%	0.08	27%	—	—	—	—	—	—
石田川	岐阜市	1/5	70～45	掘削護岸工 等	1.1	—	掘削護岸工 等	10%	0	0%	—	—	橋梁工 用地補償	0	みお筋幅、蛇行の復元	・みお筋幅、蛇行に配慮した試行

※1治水安全度向上のための改修延長
※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

2)河川構造物の耐震化

種類	今後10年間の整備内容		H30年度まで			R元年度(予定)		備 考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画		
排水機場	2	山田川、天神川	2	山田川、天神川	100%	—	天神川はH29までに耐震化完了 山田川はH29までに耐震化完了	
樋門・樋管	19	中川逆水、犀川調節、小俣川逆水、重竹逆水、側島逆水、志摩、山田川逆水、天神川逆水、忠節逆水、城田寺逆水、南柿ヶ瀬逆水、蛭川逆水、福富川逆水、石谷川、南谷川逆水、岩崎逆水、大江川逆水、西洞逆水、西洞支川逆水	19	中川逆水、犀川調節、小俣川逆水、重竹逆水、側島逆水、志摩、山田川逆水、天神川逆水、忠節逆水、城田寺逆水、南柿ヶ瀬逆水、蛭川逆水、福富川逆水、石谷川、南谷川逆水、岩崎逆水、大江川逆水、西洞逆水、西洞支川逆水	100%	—	南柿ヶ瀬逆水、西洞逆水、西洞支川逆水については、検討の結果耐震不要 城田寺逆水(H25に門扉・門柱・函渠の耐震化を実施) 天神川逆水・蛭川逆水(H26に設計は完了、H27に門扉・門柱・函渠の耐震化を実施) 側島樋門は検討の結果耐震不要 山田川逆水はH29までに耐震化完了 天神川逆水はH29までに耐震化完了 忠節逆水はH29までに耐震化完了 重竹逆水、志摩はH29までに耐震化完了 犀川調節はH29までに耐震化完了 石谷川はH29までに耐震化完了 南谷川逆水はH29までに耐震化完了	

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。
※南柿ヶ瀬逆水樋門、西洞逆水樋門、西洞支川逆水樋門、側島樋門は検討の結果耐震不要

3)魚道の機能回復

種類	平29年度までの取組方針		H30年度まで		R元年度(H30繰越箇所)		備 考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数	
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	75	65	87%	【美濃】 余取川3基 【郡上】 大間見川5基、小間見川2基	10	【郡上】 ・平成30年7月豪雨で対応済箇所が再破損した。

※平成28年度目標値は県管理魚道で、平成24年度の魚道点検の結果、「C」と判定されたもの。

進捗管理表(ハード対策)

流域名：揖斐川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今後10年間の整備内容					H30年度まで						R元年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策堤防 等延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	B 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	H30年度までの 実施内容
大江川	海津市	1/50	100	築堤 護岸工	0.32	—	築堤工 矢板護岸	0%	0.2	63%	—	—	築堤工 矢板護岸	0	法肩付近の植生を背後の環境と調和させる	—
津屋川	海津市 養老町	1/50	320~125	堤防補強 築堤 橋梁工 樋管工 ポンプ移設	4.9	2.8	用地買収 築堤工	95%	1.5	31%	1.5	54%	用地買収 築堤工	0	現況流路の保全、河畔林の植え替え	—
杭瀬川	大垣市 池田町	1/5	180~65	築堤工 護岸工 河床掘削工 橋梁改築 陸閘 堰改築	4.6	8.6	用地買収 築堤工 河床掘削工 陸閘 菅野川開水 路化	0%	1.75	38%	2.4	28%	用地買収	0	水際部植物の繁茂と自然な水際環境の復元	・掘削(水際に配慮) ・低水護岸工 ・生物保護活動 ・ホタルの幼虫保護
中之江川	大垣市	1/5	75	掘削工 護岸工 築堤工	0.9	0.8	掘削工 護岸工 築堤工	—	0.9	100%	0.8	100%	—	0	良好な自然環境の保全 地域と一体となった親水空間	・掘削工 ・護岸工(覆土式)
桂川	揖斐川町	1/5	35	掘削工 護岸工 築堤工	0.7	0	掘削工 護岸工 築堤工	100%	0.45	64%	—	—	掘削工 護岸工 築堤工	0.045	良好な自然環境の保全 地域と一体となった親水空間	・スライドダウン掘削 ・護岸工 ・築堤工
白石川	揖斐川町	1/5	55	掘削工 護岸工 築堤工	0.5	0.4	護岸詳細設計	0%	0	0%	0	0%	—	0	覆土により水際部の植生を語り多様な生物の生息箇所の確保	—
山除川	海津市	1/1.2	35~10	護岸工 橋梁工	0.18	0.18	耐震性能照査	0%	0	0%	0	0%	護岸設計	0	滞筋の保全を図り、水際の多様な空間、平常時の流速・水深の確保	—
相川	大垣市 垂井町	背水影響対策	600~430	築堤工	—	—	—	100%	—	—	—	—	護岸工	0.25	自然環境上、必要な河道内樹木は保全	・築堤工 ・樹木管理
大谷川	大垣市	背水影響対策	110~50	築堤工 橋梁改築 JR橋改築	1.8	1.7	築堤工 橋梁改築 JR橋梁設計	0%	1.0	56%	1.0	59%	橋梁改築 JR橋梁設計	0.1	自然環境上、必要な河道内樹木は保全	・築堤工 ・樹木管理
矢道川	大垣市	背水影響対策	40	築堤工 JR橋改築	0.9	—	JR橋梁設計	0%	0	0%	—	—	JR橋梁設計	0	—	—
泥川	垂井町	1/20	165~30	築堤工 河床掘削工 護岸工 排水機場着手	1.1	—	用地買収 掘削工 護岸工	41%	0.52	47%	—	—	関係機関協議	0	護岸に覆土し環境の多様性を確保	—
水門川	大垣市	1/5	95~5	洪水調節池	—	—	測量設計 用地買収 調節池掘削 排水樋管	100%	—	—	—	—	調節池工事	0	沿川の景観に配慮した改修	—

※1: 治水安全度向上のための改修延長

※2: 河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

2)河川構造物の耐震化

種類	今後10年間の整備内容		H30年度まで			R元年度	備考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画	
排水機場	2	旧水門川、山除川	0		0%		旧水門川(H28建屋耐震検討、H30建屋耐震詳細検討) 山除川は三重県で対応
樋門・樋管	5	静里逆水、新堀川、色目川、養老橋排水、 下礮逆水樋門	4	色目川、静里逆水、新堀川、養老橋排水	80%	下礮逆水 (H30繰越)	養老橋排水(H28設計、H29門柱耐震工事) 新堀川(H26設計、H28～H29門柱耐震工事) 静里逆水(H27設計、H28門柱耐震工事) 色目川逆水(H26設計、H27～28門柱耐震工事) 下礮逆水(H25設計、H30～R元門柱耐震工事予定)

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。

3)魚道の機能回復

種類	平成28年度までの取組方針		H30年度まで		R元年度(H30繰越箇所)		備考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数	
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	25	24	96%	-	0	

※平成28年度目標値は県管理魚道で、平成24年度の魚道点検の結果、「C」と判定されたもの。

進捗管理表(ハード対策)

流域名：木曽・飛騨川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所の対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今後10年間の整備内容					H30年度まで						R元年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策堤防 等延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	H30年度までの実施内容
鬼谷川	郡上市	1/10	210	護岸工 河道掘削工	0.6	0.3	測量設計 用地買収 護岸工	99%	0	0%	0	0%	※住家及び避難所、 避難所経路市道は 1/10確率洪水からの 浸水対策は河道掘削 により解消済みであ り、当面休止	-	オオサンショウウオ等に配慮し水際部の自然環境 を保護する。	・水制工(袋詰玉石+覆土)
可児川	可児市 御嵩町	1/70	280~1,200	河道掘削工 護岸工 築堤工	14.4	4.6	測量設計 用地買収 河道掘削工	0%	7.5	52%	4.6	100%	築堤設計	-	みお筋幅や蛇行の復元、現況河川の保全	・スライドダウン掘削 ・覆土 ・寄せ石の設置
久々利川	可児市	1/20	150	河道掘削工 護岸工 橋梁工	1.25	2.5	測量設計 用地買収 護岸工	88%	0.62	50%	1.24	50%	護岸工 取水堰改築	0.13	施工後の速やかな自然環境の回復	・スライドダウン掘削
加茂川	美濃加茂市 坂祝町	1/10	95~190	河道掘削工 護岸工 築堤工	2.3	0.6	河道掘削工 護岸工 築堤工	100%	2.3	100%	0.6	100%	(今後10年間の整備区 間より上流区間) 河道掘削工 根継工	0.1	水生生物の保全や景観の配慮	・スライドダウン掘削
深渡川	美濃加茂市	1/10	11~30	河道掘削工 護岸工 橋梁工	0.62	-	河道掘削工 護岸工 橋梁工	93%	0.34	55%	-	-	護岸工 函渠工	0.05	周辺環境との調和	・環境に配慮した護岸選定
飯田川	川辺町	1/10	65	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.36	-	測量設計 用地買収 河道掘削工	100%	0.11	31%	-	-	護岸工	0.05	自然を残して、身近な川に	・スライドダウン掘削 ・寄せ石の設置
水無瀬川	川辺町	1/10	30~45	河道掘削工 護岸工	0.23	-	河道掘削 護岸工	100%	0.23	100%	-	-	-	-	河川特性や周囲の環境を踏まえた地域に密着した 川づくり	・階段の設置 ・瀬・淵の保全
平芝川	御嵩町	1/30	50	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.4	-	河道掘削 護岸工	93%	0.21	53%	-	-	用地買収	-	自然環境や水生生物の生息環境の保全	・スライドダウン掘削 ・瀬・淵の保全
大森川	可児市	1/10	140	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.25	-	護岸工 築堤工	100%	0.25	100%	-	-	-	-	水生生物の保全や景観の調和	・スライドダウン掘削 ・水際に寄せ石

河川名	市町村名	今後10年間の整備内容					H30年度まで						R元年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m3/s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策堤防 等延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	H30年度までの実施内容
千旦林川	中津川市	1/20	130	河道掘削工 護岸工 取水堰	0.3	0.4	河道掘削工 護岸工 取水堰	100%	0.3	100%	0.4	100%	—	—	魚類等の良好な生息空間である淵・河畔林を極力 保全 親水機能の向上による水辺空間とのふれあい・環 境教育の場の創出	・階段の設置 ・河畔林の保存
濁川	恵那市	1/10	90	河道掘削工 護岸工	0.2	—	測量設計 用地買収 護岸工	100%	0.2	100%	—	—	—	—	河川特性を考慮しつつ、現在ある良好な自然環境 や周辺景観の保全を行う	・みお筋の保全 ・河床の非平坦化 ・水際への多孔質空間の確保
永田川	恵那市	1/30	180	河道掘削工 護岸工 橋梁工	0.5	0.4	河道掘削工	0%	0	0%	0	0%	関係機関 協議	—	周辺環境との調和を図りつつ自然な河岸・水際空 間を創出する。	(維持修繕工事) ・置石による多孔質空間を保 全
前川	中津川市	1/30	45	河道掘削工 護岸工	2.3	0.4	河道掘削工 管理道整備	20%	0.1	4%	0.1	25%	橋梁予備設計	0.1	前川の持つ自然環境を生かしつつ治水安全度を高 め、同時に水辺に近づきやすい川づくり	—
飛騨川 (湯之島・西上 田)	下呂市	1/15	3,000	河道掘削工 護岸工 築堤工	2.3	1.15	用地測量 用地買収 物件補償	29%	0.7	30%	0.75	65%	用地補償	—	必要最小限の河道改変により治水効果を高め、同 時に良好な自然環境、河川景観の保全を目指した 川づくり	・スライドダウン掘削 ・瀬・淵の保全
飛騨川 (中呂・跡津)	下呂市	1/9	2,500	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.8	0.8	護岸工	100%	0.74	93%	0.74	93%	護岸工 支障移転	0.06	必要最小限の河道改変により治水効果を高め、同 時に良好な自然環境、河川景観の保全を目指した 川づくり	・環境に配慮した護岸選定 ・早瀬の保全 ・寄せ石工の実施
大洞川	下呂市	1/20	750	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.4	0.4	河道掘削 護岸工	100%	0.4	100%	0.4	100%	河床掘削工	—	大洞川の持つ自然環境を生かしつつ治水安全度を 高め、同時に水辺に人がよりやすい川づくり	・玉石による護岸工 ・早瀬の保全 ・寄せ石工の実施
飛騨川 (柳島)	高山市	1/10	1,150	河道掘削工 護岸工	1.5	3.0	測量設計 用地買収 河道掘削工 築堤工	71%	0.96	64%	1.92	64%	護岸工設計	—	目標： 飛騨川の特性を踏まえた、みお筋や早瀬、淵等、 現在ある自然環境の保全を行う川づくり	・スライドダウン掘削 ・寄せ石の設置

※1治水安全度向上のための改修延長

※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

2)河川構造物の耐震化

種類	今後10年間の整備内容		H30年度まで			R元年度	備 考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画	
排水機場	1	上戸	1	上戸	100%	—	上戸(H26繰で上屋の詳細設計完了、H27に残分の詳細設計を実施し、H27、H28に全体の耐震化を実施)

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。

3)魚道の機能回復

種類	平成28年度までの取組方針		H30年度まで		R元年度(H30繰越箇所)		備 考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数	
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	41	41	100%	—	—	

※平成28年度目標値は県管理魚道で、平成24年度の魚道点検の結果、「C」と判定されたもの。

進捗管理表(ハード対策)

流域名：土岐川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今後10年間の整備内容					H30年度まで					R元年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み		
		計画規模	計画流量(m ³ /s)	工事内容	①改修延長(km)※1	②要対策堤防等延長(km)※2	実施内容	用地取得率	③改修済延長(km)※1	進捗率(③/①)	④対策済延長(km)※2	進捗率(④/②)	実施計画	⑤改修延長(km)※1	河川ごとの川づくり目標	H30年度まで実施内容
土岐川	瑞浪市土岐町 大正用水堰	1/10	450	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.90	0.90	護岸工 築堤工	100%	0.9	100%	0.9	100%			河床部の、みお筋が早期に自然な形状で回復できるよう、 現河床と同じような形とするスライドダウン掘削を基本とする。	・スライドダウン掘削 ・覆土工 ・寄せ石の設置
土岐川	瑞浪市 松ヶ瀬町	1/30	1,000	河道掘削工 護岸工	0.10	0.10	河道掘削工 護岸工	100%	0.10	100%	0.10	100%				・河道の設置
土岐川	瑞浪市土岐町 土岐橋	1/30	1,000	河道掘削工 護岸工 橋梁工	-	-	橋梁詳細設計	-	-	-	-	-	用地測量	0.00	-	-
肥田川	土岐市肥田町	1/30	300	河道掘削工 護岸工 橋梁工	0.53	1.06	河道掘削工 護岸工 橋梁工	75%	0	0%	0.34	32%	用地買収	0.00	治水、利水、自然環境等の川の働きを活かしながら、瀬や淵等の地形を保全・回復させる。 現況河川の狭少箇所を拡幅し、みお筋を保ち流下能力を確保する。 河川の連続性を確保する。 工事着手時に工事区間内で生物保護活動を行う。	・自然環境に配慮した護岸ブロックの採用
市之倉川	多治見市 市之倉町	1/30	100	河道掘削工 護岸工 橋梁工	0.34	0.68	河道掘削工 護岸工	95%	0.22	65%	0.44	65%	関係者との調整	0.00	市街地を流下しているため、治水安全度の確保を最優先とする一方、自然環境面においては 在来植生の保全を図るとともに、河床は平坦にせず、多様性をもたせる。 工事着手前に、水生生物保護活動を実施し、生物への影響を最小限とする。	・落差工へ魚道工の設置 ・魚巢ブロックの活用
日吉川	瑞浪市日吉町	1/10	180	河道掘削工 護岸工 橋梁工	1.00	2.00	河道掘削工 護岸工 橋梁工	100%	0.54	54%	0.98	49%	護岸工	0.26	狭小部の川幅を広げる。 自然環境を保全するためにスライドダウンを実施する。 取水堰を撤去することにより、河川の連続性を確保する。 工事着手時に工事区間内で生物保護活動を行う。	・自然環境に配慮した護岸ブロックの採用
小里川	恵那市山岡町	1/2	135	河道掘削工 護岸工 築堤工	0.37	-	河道掘削工 護岸工 測量設計	50%	0.1	27%	-	-	用地買収 用地測量	0.00	岩盤河床であるが、河床掘削時に現在のみお筋を保全することで、周辺風景との調和を図る。	・水深を確保しながらの岩盤掘削 ・発生材(間知)
笠原川	多治見市 大畑町、笠原町	1/30	120	河道掘削工 護岸工	0.55	1.10	測量設計	0%	0.07	13%	0.18	16%	護岸工	0.04 (0.07)	川の様子や土地利用が異なることからゾーニング分けした整備計画とする。	-

※1治水安全度向上のための改修延長

※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

※ 肥田川、笠原川の()書きは対策済延長。

2) 河川構造物の耐震化

種類	今後10年間の整備内容		H30年度まで			R元年度		備考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画		
排水機場	0							
樋門・樋管	1	前の川逆水樋門	1	前の川逆水樋門	100%	-	(H26に設計及び工事の一部を実施した。H27に残りを実施して完了した。)	

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。

3) 魚道の機能回復

種類	平成28年度までの取組方針		H30年度まで			R元年度		備考
	取組方針	要対応施設数	対応済施設数	進捗率	実施計画	施設数		
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対して、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	6	5	83%	-	-	多治見004魚道(土岐川)…河川改修に伴い改修中	

※平成28年度目標値は県管理魚道で、平成24年度の魚道点検の結果、「C」と判定されたもの。

進捗管理表(ハード対策)

流域名：宮川・庄川流域

1) 浸水被害の軽減、緊急点検要対策箇所の対策、自然共生川づくり

河川名	市町村名	今後10年間の整備内容					H30年度まで						R元年度(予定)		川づくり目標に対する取り組み	
		計画規模	計画流量 (m ³ /s)	工事内容	① 改修延長 (km)※1	② 要対策堤防 等延長 (km)※2	実施内容	用地取得率	③ 改修済延長 (km)※1	進捗率 (③/①)	④ 対策済延長 (km)※2	進捗率 (④/②)	実施計画	⑤ 改修延長 (km)※1	河川ごとの川づくり目標	H30年度までの 実施内容
宮川 (高山工区)	高山市	1/20	670~790	河道掘削工 護岸工 樋管工	1.5	2.0	測量設計 河道掘削工	—	1.5	100%	2.0	100%	-	0	現在の自然豊かな環境をその まま維持、もしくは早期回復	・スライドダウン掘削 ・覆土工 ・寄せ石の設置
苔川	高山市	1/30	155	河道掘削工 護岸工 橋梁工	1.0	2.2	測量設計 用地買収 護岸工	80%	0.25	25%	0.5	23%	掘削護岸工 用地補償 測量設計	0.05	単調な流れからの脱却、景観の 配慮、親しみやすい川づくり	・スライドダウン掘削 ・寄せ石の設置(バンプ工法)
江名子川	高山市	1/10	35	河道掘削工 護岸工	0.410	0.080	測量設計 河道掘削工 用地買収	50%	0.208	50.7%	0.050	62.5%	掘削護岸工	0.087	【下・中流部】明度を落とした護 岸素材の使用 【上流部】滲筋を外した隠し護岸 等良好な自然環境の保全、親し みやすい川づくり	・スライドダウン掘削
宮川 (古川工区)	飛騨市	1/30	2,800	河道掘削工 護岸工 築堤工	4.1	2.6	測量設計 河道掘削工 用地買収	29%	0.30	7.3%	0.16	6.0%	河道掘削工	0.2	現在の豊かな自然環境を残し つつ河道掘削で流下能力を向 上	・スライドダウン掘削
太江川	飛騨市	1/20	110	計画策定	—	—	測量設計	—	—	—	—	—	測量設計	0	明度を落とした護岸素材の使 用、親しみやすい川づくり	—

※1治水安全度向上のための改修延長

※2河川堤防緊急点検における要対策延長(左右岸の合計)

2) 河川構造物の耐震化

種類	今後10年間の整備内容		H30年度まで			R元年度		備考
	施設数	施設名	施設数	施設名	進捗率	実施計画		
-	-		-		-			

※県内の全ての河川構造物の耐震化が完了した後に、河川堤防の耐震化に着手する。

3) 魚道の機能回復

種類	平成28年度までの取組方針		H30年度まで			R元年度		備考
	取組方針	要対応 施設数	対応済 施設数	進捗率	実施計画	施設数		
河川魚道	点検の結果、評価「C(調査・改善・改修を要する)」の魚道に対し て、修繕・改善の対応を実施し、機能回復を図る。	54	54	100%	—	—		

※「要対応施設数」は、平成24年度の点検において「C」と判定された県管理魚道の数を計上。